



2017年8月17日

各位

会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ
 代表者名 取締役兼代表執行役CEO 高宮 勉
 (コード番号 6464 東証第1部)
 問合せ先 取締役兼専務執行役CFO 小原 シェキール
 (TEL 06-6224-0193)

2017年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2017年2月14日の決算発表時に開示した2017年12月期通期(2017年1月1日～2017年12月31日)の業績予想について、米国NN社精密ベアリング部品(Precision Bearing Components、以下「PBC」といいます。)事業取得完了に伴い、下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2017年12月期 連結業績予想数値の修正

(2017年1月1日～2017年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前 当期利益	親会社の所有 者に帰属する 当期利益	基本的1株当 り当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,500	7,600	7,100	5,000	126.72
今回修正予想(B)	49,300	6,650	5,700	3,700	93.48
増減額(B-A)	10,800	▲950	▲1,400	▲1,300	▲33.24
増減率(%)	28.1%	▲12.5%	▲19.7%	▲26.0%	▲26.2%
(ご参考)前期実績 (2016年12月期)	36,886	6,922	6,409	4,632	116.46

2. 2017年12月期期末配当について

2017年12月期の期末配当は1株当たり33円を予想しており、当初業績見通しからの変更はありません。

3. 業績予想修正の理由

2017年8月17日(日本時間)にNN社PBC事業の買収を完了いたしました。これにより、取得完了後のPBC事業の業績取り込み(今年度は8月17日以降のみ)及び一時費用の発生に伴い業績予想を修正致しました。ご参考までに、PBC事業を約4ヶ月分取り込み、一時費用を除いた、今年度修正業績予想は<参考>をご覧ください。

<参考>

1) 一時費用を除く2017年12月期当初業績予想と2017年12月期修正業績予想との差異

(2017年1月1日～2017年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前 当期利益	親会社の所有 者に帰属する 当期利益	基本的1株当た り当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,500	7,600	7,100	5,000	126.72
修正業績予想(B)	49,300	8,650	8,000	5,750	145.27
増減額(B-A)	10,800	1,050	900	750	18.55
増減率(%)	28.1%	13.8%	12.7%	15.0%	14.6%
(ご参考)前期実績(C) (一時費用除く)	36,886	7,232	6,719	4,922	123.75
前期増減額(B-C)	12,414	1,418	1,281	828	21.52
前期増減率(%)	33.7%	19.6%	19.1%	16.8%	17.4%

(注) 1. 買収したPBC事業については8月17日以降の業績を取り込んでおります。2017年12月期には約4ヶ月の業績のみが含まれており、通年ベースでの業績は2018年12月期以降に含まれます。また、2017年12月期業績にはシナジー効果は見込んでおらず、2018年12月期以降に実現してまいります。

2. 2017年12月期については、一時費用として、営業費用2,000百万円、金融費用300百万円の発生を予測しています。一時費用は主にM&A関連費用であり継続的に発生する費用とは異なります。

以上

参考.

(将来の予測に関する記述について)

本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載(推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます)が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

本件取引に係る対象事業の情報についてはNN社のセグメント情報や未監査の管理会計データを含んでおり、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。また、本件取引の実行は、規制当局からの承認が得られることその他譲渡契約に定めるクローズング条件の充足を条件としており、一定の不確実性を含んでおります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。